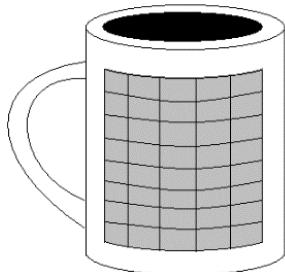


## (例)

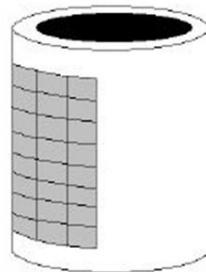
### 識別ポイントに係る資料

#### 1. 認定手続を執るべきことを申し立てる貨物（対象品）

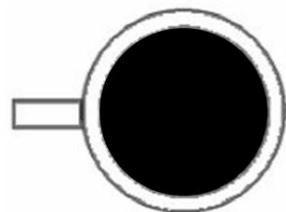
商品名「ソーラーマグカップ」であって型式番号「XC-MAG-001」のマグカップ。



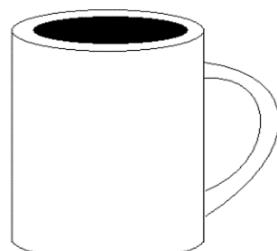
正面写真



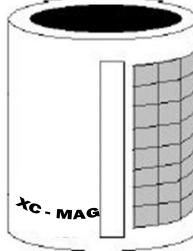
右側面写真



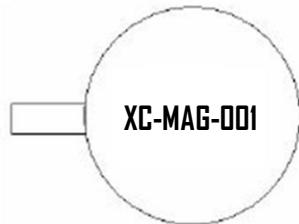
上面写真



背面写真



左側面写真



底面写真

#### 2. 真正品（権利者製品）と侵害品（対象品）の相違点

対象品がいわゆる正品のデッドコピー品ではなく、正品との対比によらず対象品を判別できる等の場合、正品との対比は必須ではありません。

正品	侵害品（対象品）

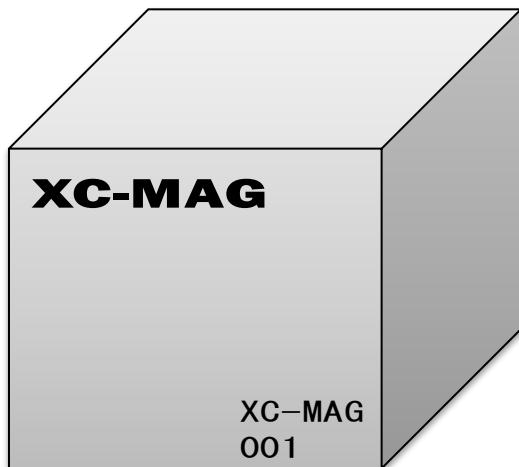
※識別ポイントを図示し、説明を記載。

※識別ポイントを図示し、説明を記載。

※識別ポイントを図示し、説明を記載。

※識別ポイントを図示し、説明を記載。

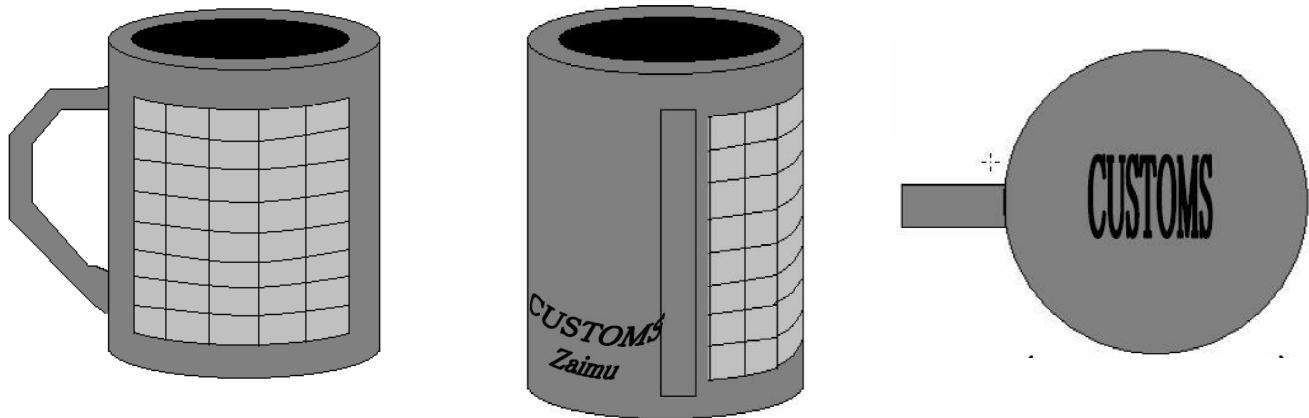
### 3. (参考) 対象品の梱包状況



梱包の外装には、型式番号である「XC-MAG」「001」の表記がある。

### 4. (参考) 権利者製品

上記2. と記載内容が重複するようでしたら記載は不要です。



権利者は、「CUSTOMS Zaimu」ブランドのマグカップを製造・販売している。

権利者製品の把手部の左下端には「CUSTOMS Zaimu」の表記がある。

権利者製品の底面には「CUSTOMS」の表記がある。

### 「識別ポイントに係る資料」作成上の留意点

- 最初に、認定手続を執るべきことを申し立てる貨物（対象品）を記載してください。
- 次に、真正品又は侵害品（対象品）に特有の表示、形状等、真正品と侵害品（対象品）を識別するポイントや方法を記載してください。権利の内容と直接関係しない事項でも構いません。  
※ 識別のポイントとなる箇所の全体から見た位置が分かるようにしてください。
- 本資料は、税関が侵害疑義物品の発見の参考とする資料です。税関内部で厳格に管理され、不開示資料とした場合税関から第三者に開示することはありません。